



しうら

昭和60年
3月号

青春の門出

六人が巣立つ

県立金木高等学校相内分校（川嶋定和校長）の昭和五十九年度卒業証書授与式が、三月五日午前十時から同校体育館で行われ、学窓を巣立つわが子の晴れ姿をひと目見よう

という父母や多数の来賓がお祝いにかけてつけました。

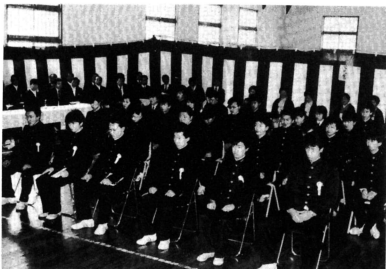
式では、川嶋校長から六人の卒業生一人一人に卒業証書が手渡され、全国定通振興会会長賞や成績優良賞等の賞状

も授与しました。川嶋校長が「人間は、学力だけで決まるものではなく、健康な体と心も評価される、この四年間で学んだことをこれからの人生に役立て、自信と誇りをもって堂々と進んでほしい」と式辞を述べました。

来賓祝辞のあと、在校生を代表して、中山卓二君が「これまでの四年間は、一人の生徒であり、社会人でもあったはず、いろいろと学びとり、ふるさとや母校を愛する心を育ててくれた先輩が、これからもくじけずがんばってくれらることを期待する」と送辞。

これに対し、卒業生を代表して三和永治君が「同年代の仲間が一年早く卒業して実社会へ飛び出していくのを見てあせりも感じたが、働きながら学んだ四年間は大切な人生経験となった。胸を張って社会へ飛び出します」と答辞を述べ、六人の卒業生は思い出

4年間のいろいろな思い出が……自信と誇りを持って頑張ってほしい。



多き校舎に別れを告げました。

今日の主な記事

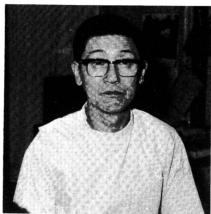
- 歯科医・浅理先生着任..... 2
- 15歳の旅立ち..... 3
- やめよう無謀運転
春の全国交通安全運動..... 4
- もうすぐ1年生..... 5
- 歴史漫歩 猿賀さま..... 6
- おしらせ..... 7
- 健康への道
戸籍の窓..... 8



高度な治療で 地域医療に取り組む

歯科医・白先生の後任に 浅理医師が着任

3月1日から診療開始



祥子夫人と一人娘の幸江さんの
3人で着任しました。

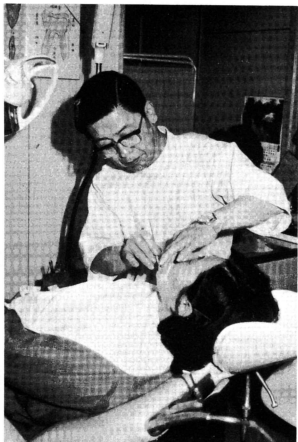
浅理克己医師 (61歳)

本村は昨年三月、行財政改革に伴い村職員の定年制(一般職員六十歳、医療職員六十五歳)を取り入れました。これに伴い、地域住民の健康を守るため医療活動を続けてきた市浦診療所長の崔炳岳医師(65)と歯科の白洪鎮医師(70)の二人が該当、退職し、住民に惜しまれながら村を去ることになりました。

このうち、白洪鎮医師は既に退職し、韓国・釜山市に帰国したことから、村では後任医師確保に奔走していました。へき地の医療活動に情熱を傾けているという、浅理医師

のことを耳にし、村の実態を訴えながら話し合いを重ねたところ、浅理医師が快諾し、さそく着任、三月一日から診療を開始しています。着任した浅理医師は昭和二十年、日本大学専門部歯科卒業後、東京大学医学部歯科口腔外科教室研究生、文部技官、東京大学学生診療室に勤務していました。生まれ故郷の盛岡市で開業、若手歯科医師会副会長を務めました。

地域医療の実態に疑問を持ち、かねてからへき地での医療活動を望んでいたという浅理医師は「へき地に開業医が定着しないのは、労働過重と厳しい冬の寒さ、交通の便など、地理的条件が影響していると思うが、医療行政に不平等があつてはいけない。ここは雪の多い寒村だが、歩み入る者に安らぎと、去り行く者に幸せを」。住民の暖かい気持ちにふれ、「市民の印象を語り、さらに患者さんには、歯に対する関心が薄く、初期治療が行き届いていない。幼



大丈夫／痛くないから…親切に治療する浅理先生

四月には森 医師も着任

なお、市浦診療所長の崔炳岳医師も三月三十一日付で退職し、本村を去りますが、県のアッセンにより、四月からは自治医科大学卒業の森明彦医師の着任も決まりました。



患者さん一人一人の治療状況を確認……

思い出胸に

15歳の旅立ち

長谷川校長から一人一人に卒業証書が授与されました。



八十三人の卒業生一人一人に卒業証書を授与した長谷川校長は「荒れたあの状況の中

市浦中学校(長谷川良幸校長)の昭和五十九年度卒業証書授与式が、三月十八日午前十時から同校講堂で行われました。八十三人の卒業生は、緊張の中にもちよっぴり涙がみられ、巣立ち行く思

緊張の中にちよっぴり涙 先生と別れの握手

い出交き中学校に別れを告げ、進学や就職の決意も新たに、希望に胸を膨らませました。

で、一人一人がよく自覚し伝統ある中学校を立ち直らせてくれた。その勇氣と努力、団結力には素晴らしいものがある」と褒めた。卒業生は、一つの節目とし、何をすべきか、どんな生き方をすべきか、常に考えて行動し、自分の道を切り開いて欲しい。誠意には誠実さを持って応えるのが最も人間らしい生き方であり、学ぶということとは、誠実を胸に刻むことだ。共に学び同じふるさとを持つ者として、連帯の意志を強め、より素晴らしい世界を創造する若者めざせ!と式辞を述べました。

このあと、柏谷秀一教育長が「志を堅くして、尊敬される社会人としての修業を積み自立、学習、自営の精神を発揮し、立派な人間になって欲しい」と告辞を述べました。

続いて、来賓の三重県村長、佐藤P.T.A会長が「何事にも積極的に取り組み、視野を広め、新しい価値を創造し、自信に満ちた心の美しい人間に成長して欲しい」と激励しました。

このあと、竹谷順子さんが「春の大運動会、中体連、文化祭など、先輩と一緒に頑張って成功させたことをうれしく思っている。力不足な私たちが最後までやり抜く根性を教えてくれた」と感謝の気持ちを述べ「先輩の堅固な精神と根性で築かれた生徒会、部活動の良き伝統は、私たちが引き継ぎ、全力投球で守って行きます」と在校生を代表して別れの言葉を述べました。

また、卒業生を代表して柳引康彦君が「校内暴力の波をまともに受け、入学から二年間は勉強ができない日々が続いた。自分たちの手で伝統ある誇り高い市浦中に建て直そう、反発はあつたもの、新しいことを試みるには、困難さがつきまとうことも学ぶことができた。教えきれないほどの面倒をかけ、何度でも同じあやまちをおかした私たちが最後まで暖かく包んでくれた先生方を一生忘れないつもりだ」と感謝の言葉を述べた。

また、「これからの道は自分で切り開き、正面から堂々と前進し、力強い心の大きな人間になります」と決意を述べ、在校生には、「生徒会活動の活発な学校は、決して間違つた方向へ進まない!ということを互いに経験した。私たちが

できなかつた立派な校風づくりに取り組んでください」と答辞。続いて、長谷川校長、佐藤P.T.A会長から卒業生代表の三和公也君、桑野砂織さんにそれぞれ記念品が授与され、卒業生代表の山田洋一君から長谷川校長には、卒業記念品として紅白幕の目録を手渡しました。

式歌、校歌を唄うころは涙もこみあげて……。

頭張ります。先生とガツツり握手していました。



4月6日から15日まで

春の交通安全運動

やめよう 無謀運転



二輪車 増え続ける 死亡事故

全国で二千三百二十二人の方が命を落としています。これらの事故の原因の多くは、スピードの出し過ぎと、安全の確認を怠ったことによるものです。

二輪車ぐらいという軽い気持ちは禁物です。ハンドルを握ったら「思いやり」「ゆずり合い」、交通ルールに従う、そして「迷惑をかけない」、生命の尊さを知る——この五つの心の準備を、つねに持ちましょう。

そして、ぜひ次の安全運転のポイントを心がけましょう。

- 安全速度を守りましょう。
- シグザグ運転はやめましょう。
- 信号機のない交差点では、必ず除行、または一時停止をしましょう。路地や住宅地の道路では、子供や自転車の飛び出しが多いのです。

■無理な追い越しは絶対にしないようにしましょう。特に対向車のあるときの追い越しは、死亡事故の多くを占めます。

若い人たちは、身軽な二輪車に乗ると、どうしても心が大きくなり、無謀な運転をしがちです。ご家族に二輪車を運転する人がいれば、ぜひこの機会に、注意をうながした

ものです。

面倒がらずに
締めましょう
かぶりましょう



シートベルトとヘルメット

重点目標

われまします。今年の重点目標は、次の三つです。

- 一、新入学(園)児を中心とした子供の交通事故防止
- 二、シートベルト、ヘルメット着用の徹底
- 三、二輪車を中心とした無謀運転の遏放

春の全国交通安全運動が

四月六日から十五日まで行

シートベルトやヘルメットが格好悪い、わずらわしいと思っているあなたは、ひとつしかない自分の生命を、危険の淵にさらしていることになりました。

あなたがどんなに慎重に運転していても、他人の事故に巻きこまれる可能性は、どんなに

写真

シートベルトをガツリ締めて安全運転に心がけましょう。

もじすべく一年生

— 新入生は49人 —

この春、村内の小学校に入学する児童は、男子が二十二名、女子が二十七人です。学校別では相内小学校二十人（男6・女14）、太田小学校二人（男2）、臨元小学校十二人（男6・女6）、十三小学校五人（男8・女7）。

新入生のお子さんをお持ちの家庭では、入学に当たって夢が大きく膨らむと同時に、なにかと不安もあるかと思えます。そこで、入学を期して家庭で気をつけた点をいくつか挙げてみましょう。

子どもを

よく見よう

子供の成長・発達には、顔の形や身長が速いように、一人一人違います。ところが、外見の違いはわかりますが、性格やものを覚える速さ、自立心など内面はよくわかりません。

学校は楽しいところ



昨年行われた入学式（相内小学校）

ことがあります。

ご自分のお子さんをよく見て、置れている点があったら焦らず根気よく伸ばしていきましょう。

学校は、生涯にわたる友達ができたり、いろいろなことを覚えたり好きなことになったりするところですよ。

通学路に慣れる

親が心配のあまり、「こんなことでは先生にしかられるよ」とか、「こんなことができない」とか、「ちゃんと負けるよ」などと言って、学校に対して不安を抱かせないようにしたいものです。

以上の二つは基本的な心構えです。次は入学前にぜひやっておきたいことです。

健康な

体で

目や耳、鼻、歯、その他の病気があったら早めに治しておきましょう。最もよい健康状態で入学式を迎え、勉強で



期待と不安の中で入学した子供たちもいまでは集団生活にとけこんでいる。

きるようにはしておきたいものです。

通学路に慣れる

家から学校までの道路を、安全に歩けるように練習しておきましょう。交通事故の大半は小学校低学年の子どものためです。

道路の横断のしかた、途中の危険なところ、また、ふざけながら歩かないことなど、具体的に教えるながら何回か歩いてみましょう。

言葉をはつきり

朝、友だちや先生に会ったら「お早うございます」、名前を呼ばれたら「はい」などと元気に答えるようにしておきましょう。

また、おなかの痛いとか、

お便所にいきたくないということもはっきり言えるようにしておきたいものです。思わぬ失敗から学校がいやになったりすることがあります。

朝はゆとりを

早寝・早起きの習慣をつけ、ゆとりをもって登校できるようにしておきましょう。最近朝寝坊して朝食抜きで登校する子どもが増えています。夜遅くまでテレビを見ていたことが原因のようです。

自分のことは自分で

自分の身の周りのことは自分でできるようにしておきましょう。

靴を履く、かばんを背負う、服を着る、脱ぐ、こーいう基本的なことを自分でできるようにしておかないと、集団生活にうまく適応できないことがあります。

親がつい手をかけるために、子どもが自分で扱っていることがありません。気をつけましょう。

ほいくしよに

おわかれ

あいうちはほいくしよ
さとうゆうじちゃん(六歳)



ほいくは、もすすぐいちねん
せいです。

五ねんかんのながいあいだ、あいうちはほいくしよにはいりませんでした。しちしようせんせいは、よくがんばつてきてくれた、とほめてくれました。ほくもたいへんだったけど、おとうさんやおかあさんは、もつとたいへんだったとおもいます。

ランドセルやつくえなどのじかんびもできたし、あとは四がっ八がのにゆうがしきをまつばかりです。

ししようがっこうにいってもげんきにながらばりいとおもいます。

にゆうがあくしよには、やっぱりおあきんといっしよにいきたくないなあ。あいうちしようがっこうのみなを、えん、よろしくおねがいします。

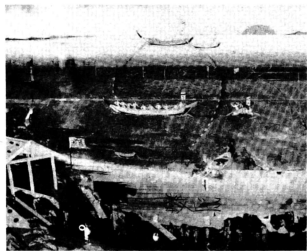


▶71◀

猿笑々々々

奥の細道

(3)



猿元猿賀神社に奉納されている絵馬

田村勧請の寺院
おそく津軽は王城の鬼門(東北)に当たっているので、夜叉姿の力士は深砂

権現であろうと、「縁起書」の作者が言っています。そこで、延暦十一年(七九三)八月廿三日に田舎郡猿賀山に深砂権現を勧請し、猿賀、新山、高木の三庄を寄附して社領として建立されたわけである。外ヶ浜(青森市)には妙見堂、藤崎門天の像を祭るなどの神社仏閣を建立しましたが、猿賀霊社が第一の寺院であったといわれています。

いずれも津軽では由緒ある、かつては蝦夷の神を祀っていた祠に田村氏の信仰した神仏を合祀したものと思われます。

猿元猿賀社の絵馬

ところで、猿元猿賀社の絵馬であるけれども、葛西才太郎、久之丞の奉納した明治中期の北前船が見えて

います。観音丸という船名です。航海安全祈願のために奉納した絵馬だということがわかります。

もう一枚は相当な大きさの大漁奉納額になっていきます。ヤマカギ(奇藤産三郎氏)さんで、鯉の大漁祈願のために奉納した絵馬です。たぶん江戸時代末期ころのものではないかと思われるのですが、鯉網を二ヶ所かけ、中に鯉の逸泳しているのが読みとれます。漁師たちはすつ裸に、裸一本で勇壮な姿がみうけられ、両手を上げて大声を立てている監視船も出ています。陸では大勢の夫婦が背負籠に鯉を運搬し、小屋いっばいに山積みされた鯉山も写し出されています。かなり腐蝕して絵具が剥がれていますが、この絵馬は動物の孤たちも手伝っていたといいたいのも有名です。大切に保存したいものだと考えます。

猿元のニシン御殿

屋号ヤマカギの奇藤家は当村の家家で、猿元の「ニシン御殿」と呼ばれた金持

ちさんです。現在は北海道に在住していられます。

「新撰陸奥国誌」に「猿元村、家数百七十四軒、田少く畠多し、土地の下りよって鎌足らず、山に入り木材を採り、海には漁釣す、なり足らざるものは北地に渡り儲けとなり、また常に航海する者ありて当時一村に大小船七十九艘を貯ふ」とある。印の家がヤマカギ家を指したものであろう。

桂川猿賀社の御鏡

猿元荒磯神社松権神官所藏の鏡三枚はともりっぱなものばかりであります。そのうちの一枚が桂川から奉納された鏡です。鑑識のない私にはわからないけれど貴重なものだと紙折がつけられています。

桂川にももも緒正しい方々の家があったものでしょうから、猿賀さまに祀られた御鏡があったって不思議はありません。二十枚ほどもあったという噂も耳にいたします。「散供」のことは割愛させていただきます。

河川美化月間

歴史とともに

歩む川

きれいな川を

後世にのこそう

陸上交通の発達により、川を水路として使うことは少なくなりましたが、生活・産業用水の供給源として、川の役割はますます高まっています。さらに、広大な河川空間は、人々の憩いの場として、また地震時などの避難地として絶好のオアシススペースになっています。

ただ残念なことに多くの川は、子供たちが自由に水遊びのできるきれいな澄んだ川ではなくなっています。四月は、河川美化月間です。わたしたち人間の歴史とともに歩み続けてきたこの貴重な財産を、再びきれいなものにして後世に引き継いでいくこと——わたしたち一人一人が心掛ければならぬ一問題ではないでしょうか。川の再興は、決して川自身の責任ではないのですから。

情報をお寄せください

おしらせ

役場の電話は62-2111



柏谷 肇さん(相内)
二女・幸子ちゃん(四歳)
おねえちゃんたちいぢねん
せいになるんだって、さびし
いけど、がまんしなきゃな
(はいくしよのしゅうりよ
うしきで)



3月中旬 完納しましょう

国民年金保険料

3月は59年度の最後の月です。59年度分の保険料は今月中に完納してください。

4月からは引き続き60年度分の納付が始まりますので、まとめて納めることになれば金額もかさみ一層大儀になります。

国民年金の母子年金や障害年金は、万一の事故にあったときに、保険料をきちんと納めていることが年金を受けられるための大切な条件のひとつにもなっています。

納め忘れがないか、もう一度よく調べてみましょう。

「東京相内会」 親睦会のお知らせ

東京周辺に在住している相内出身者で組織している「東京相内会」の第8回親睦会が次の日程で開催されることとなり、会では広く参加の呼びかけをしています。

- 日時 4月7日(日曜日)
午後1時
- 場所 上野公園
- 会費 3,000円(小人1,000円)
- 連絡先
加藤貴子(0424-21-2765)
鳴海憲也(0462-63-2720)

新たに 3町内会組織

町内会は、これまでの古い制度を廃止し、役員の選出から、地域がかかえている諸問題すべてを、地域住民自身で解決しようとする自治組織に生まれ変わりましたが、新たに下記の町内会から設立の届出がありました。

これで11町内会のうち9町内会が新しく組織されました。

- 相内第三町内会
(三浦兼四郎会長)
- 仲の町町内会
(白川浅次郎会長)
- 相内第三町内会
(鳴海藤雄会長)

退職金と税金

まだまだ働けると思っけてもサラリーマンならいつかは「退職」の日がやってきます。そのときにするのが退職金ですが、この退職金には、所得税や住民税がかかります。

退職金は、長い間の勤労に対する報酬ですから、ほかの所得とは分離して課税され、軽い負担で済むようになっています。

〈退職所得及び税額の計算〉
(退職金の額-退職所得控除額)

$\times 1/2 =$ 退職所得
この退職所得に税率を掛け所得税額、住民税額が算出されます。

退職所得控除額は、退職した人の勤続年数に応じて計算されます。詳しくは、総務課税政係又は五所川原税務所にお尋ねください。

交通事故相談 無料で応じています

青森県交通事故相談所では、交通事故による被害者を救済するため、損害賠償額・請求・示談方法などについて無料で相談に応じています。

予備知識などわからないため、苦しみ泣き寝入りしないよう、相談前にお気軽に相談所の利用をおすすめします。

- 相談担当者 交通事故相談員4名のほか顧問弁護士1名
- 相談方法
面接相談のほか文書や電話による相談にも応じます。
- 県事故相談所
青森市新町2丁目4-36
青森県社会福祉会館6階
電話0177-22-1111
内線(5440-5441)
- 相談日と時間

○相談日と時間

相談員 休日を除き 毎日	平日 9時～16時
	土曜日 9時～正午
弁護士 毎週土曜日	10時～正午

また、巡回相談所も開設していますのでご利用ください。

○巡回相談所

五所川原 市民文化 会館別館	毎月第2・ 第4 水曜日	10時～ 15時
----------------------	--------------------	-------------

した。帯となつています。
村では、早速防災対策費として利用することに決定しま

全労災青森県本部市浦地区共済会(中山佐一会長)では、このほど村役場を訪れ、「消防・防火対策に役立てて下さい」と十万円を贈りました。同会では、労働者の保険事業を取り扱っていますが、会



善慮ありがとう
十万円を寄附
全労災市浦地区共済会

合格おめでとう



第69回商工会球算検定試験は2月16日午後1時から村内各小学校4会場で実施されました。受験者数は60名で、合格者数が27名でした。

合格者は次の通りです。

- ▶3級 豊島忍(十三小) 木村方昭(辻分球算塾) 三上智美(太田小)
- ▶4級 中井歩美、浜田蘭子(浦田塾)
- ▶5級 鳴海咲子(十三小) 白川欽靖、中井規江(浦田塾) 田子晚宏(辻分球算塾)
- ▶6級 工藤弘子、中井寿子、秋月裕美、白川知緒子、奈良美一(浦田塾) 萬谷由香子(脇元小)
- ▶7級 秋月梅子、秋月桃子、小山内みちる、浜田十和子(浦田塾) 三浦倫子、藤本浩美、大性公二(辻分球算塾) 山本博一(太田小)
- ▶8級 相川紗弥加(辻分球算塾) 三上陽子(十三小) 奈良聖美(太田小)
- ▶9級 古川広俊(太田小)



▶9◀

親が神経質にならないで

— 夜驚症 —

派遣保健婦

野宮 富子

症状と幼児に多い症状です。

乳幼児学級で質問のあった夜驚症(やきょうしょう)についてお答えします。

原因と敏感で神経質な子供に多いようです。日頃、自分が不安に感じていたり、恐いできごとがあったりした時等、精神的に負担を感じることがあきかねにやるようです。

対策と自分の子供の性格をよく考えてみて下さい。

症状があった時は、日頃の子供の行動をみて下さい。負担に

思っていることがあるかもしれない。本人が安心して、ゆとりのある生活ができるようになり、それには、親が神経質にならないことが一番です。またさげんたり、歩きまわったりの症状がある時はやさしくだきしめて安心させてやるのが最良の方法です。声をかけたらず、眼ざめさせることは不安を大きくし逆効果です。子供自身



遊びに夢中な子供たち (十三保育所で)

に安心感が生まれれば自然になくなるので心配はいりません。どうしても気になる人は親で精神科に相談してみして下さい。



お誕生

川内 勇希(脇元) 敏範
 小山内 理恵(十三) 利昭
 三浦 松幸(相内) 満治
 三浦 竹史(相内) 満治
 本荘 久美(十三) 完一
 宮本 円(脇元) 兼政
 三和 史弥(相内) 賢



ご結婚

長 利健治(太田)
 中 島佳代美(東京)
 蒔 田道秀(十三)
 宮 崎信子(千葉)
 吉 田吉光(鶴ヶ沢)
 三 田久美子(脇元)
 阿 部 毅(北海道)
 今 野富士子(十三)
 若 山 専太郎(十三)
 齊 久美子(弘前)

おめでとう

葛西 光哉(脇元)
 染谷 みゆき(東京)
 升田 守(小泊)
 柳 仁美(脇元)
 三浦 秀治(相内)
 宮崎 千鶴子(木造)
 岡 島秀雄(青森)
 成 田 秀子(脇元)
 工 藤 雅博(相内)
 三 和 明子(相内)
 畑 中 隆(下北)
 白 川 かつみ(十三)
 相 川 金祐(十三)
 工 藤 明美(板柳)
 齊 藤 丈文(脇元)
 小 松 久美子(東京)
 廣 瀬 智人(千葉)
 本 荘 佳奈子(十三)

笹山 建治(脇元) 23歳
 武田 一郎(太田) 75歳
 工藤 キワ(相内) 80歳
 浜田 ユミ(十三) 85歳
 伊南 平内吉(磯松) 80歳

